

研究課題 (テーマ)		ダ・ヴィンチ祭への高校生の参加と学生参加を促す出展への支援	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	情報システム	准教授	岩本健嗣
研究結果の概要			
<p>ダ・ヴィンチ祭は、これまで、高校生の参加を促すために、高校生も参加できる出展を支援してきた。平成26年度は、これをさらに進め、高校生「のみ」を受け入れる出展を募集し、これに対して支援を行った。</p> <p>具体的には、以下の8つの出展の申請があり、これらに必要な部品や材料などの支出をした。</p> <p>①AR プロジェクションマッピングゲーム体験&amp;製作、②画像認識と3Dディスプレイ③あなたの台所の化学 ～微生物編～④パソコンを自分で組み立ててみよう⑤空中写真の立体視と利用 ～3D写真で環境地図を作る～⑥射水一 (いみずいち) 受けたい授業：バーチャル工場見学!?富山県のモノづくり (所要時間30分) ⑦半導体と光について考えよう (20名) ⑧Excel はステキなツール</p> <p>本プログラムの成果として、まず、オープンキャンパスとの連動が挙げられる。オープンキャンパスの案内メール内で本企画の参加者募集を行い、事前の受付を行った。また、当日受付可能なものに関して、オープンキャンパスのガイダンス内に、ダヴィンチ祭実行委員が直接出向き、出展への参加のお願いを行った。</p> <p>結果として、事前申込59名、66名の参加があった。</p>			
今後の展開			
<p>成果と費用対効果について引き続きダ・ヴィンチ祭実行委員会で議論を進め、今後も高校生参加を促す施策を引き続き行っていく。</p>			